

2022年度 スバル学院本巣校

自己点検・評価票

2023年5月31日現在において、下記項目に基づき自己点検を行い、これを3段階で評価するものとする。

評価方法

【3段階評価】

A:達成されている

B:ほぼ達成されているが、一部改善が必要である

C:達成されていない

※1.1は、別紙「日本語教育期間告示基準適合状況点検表」に基づき点検を行い、適合しているか確認できたら[]欄に「✓」を記入。

| | |
|--|---------|
| 日本語教育機関名： スバル学院本巣校 | |
| 2. 入学者の募集 | 評 価 |
| 2.1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。 | (A) B C |
| 2.2 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。 | A (B) C |
| まとめ：2.2では、コロナ禍以降、新規海外エージェントが増えた。適切な学生選考が行われているのか、どのように募集活動が行われているのかを正確に確認するのがこれからの課題である。 | |
| 3. 入学者選考 | |
| 3.1 入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。 | A (B) C |
| 3.2 入学者の選考に当たっては、学校関係者(職員等)が面接等を行うよう努めている。 | (A) B C |
| まとめ：入学者の選考に関し、事前の入学者面接までに入学者の最終学歴の成績表や日本語検定の合格証の提出を求めている。入学者面接の結果を客観的なものにするために、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力の学校による評価を点数化している。 | |
| 4. 納付金 | |
| 4.1 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。 | (A) B C |
| 4.2 関係諸法令に基づいた学費返還規程を定め公開している。 | (A) B C |
| 4.3 上記4.1及び4.2については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。 | (A) B C |
| まとめ：4.3について、例えばアジアの言語を網羅するというのではなく、言語を少しずつ増やしていくことに更なる努力をしていきたい。 | |
| 5. 学生支援 | |
| 5.1 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。 | A (B) C |

| | |
|--|---------|
| 5.2 進路指導を適切に行っている。 | A (B) C |
| 5.3 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。 | (A) B C |
| 5.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。 | A (B) C |
| 5.5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。 | (A) B C |
| <p>まとめ：コロナ禍前は地域でのボランティア活動などを通し様々な社会活動ができたが、コロナ禍でその機会が少なくなっている。今後の取組みのあり方をもう一度検討し、学生に日本社会を理解できるような機会を設けられるよう努める。</p> | |
| 6. 教員 | |
| 6.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。 | (A) B C |
| 6.2 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施すると共に、他機関の実施する研修会等への参加を促している。 | (A) B C |
| 6.3 教員評価を適切に行っている。 | A (B) C |
| <p>まとめ：教員評価についてはこれまでの学生による評価に加え、2021年度末に試験的に専任教員を対象に実施した。2022年度は非常勤教員にも協力をあおぎ、全教員を対象に実施を予定。学生による評価についても形式や項目の見直しを検討している。</p> | |
| 7. 教育活動 | |
| 7.1 理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。 | (A) B C |
| 7.2 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。 | (A) B C |
| 7.3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。 | A (B) C |
| 7.4 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。 | (A) B C |
| 7.5 理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。 | (A) B C |
| 7.6 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。 | A (B) C |
| <p>まとめ：7.3の教員配置については、コロナ禍でクラス数、授業数が減った際に非常勤教員の方が別の仕事を探したり、家庭の事情などで担当できる授業数が減ったりすることが重なり、余裕がないのが実情である。学校の立地が不便なこともあり、教員確保は恒常的な課題でもある。</p> | |
| 8. 教育施設 | |
| 8.1 教室内は十分な照度があり換気がなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされている。 | (A) B C |
| 8.2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。 | (A) B C |
| 8.3 法令上必要な設備等を備えている。 | (A) B C |
| <p>まとめ：図書室を自習室として開放しているが学生の使用頻度は低い。学生が設備を利用しやすいように検討をしている。</p> | |
| 9. 安全・危機管理 | |
| 9.1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。 | (A) B C |
| 9.2 感染症発生時の措置を定めている。 | (A) B C |

| | |
|--|---------|
| 9.3 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、教職員及び学生に周知している。 | A (B) C |
| まとめ：感染症発生時の措置を定めており、少しずつその時々への対応の変化に応じて措置も変えていつている。定期的な防災訓練を行い、教職員及び学生に周知をしていくよう努めている。 | |
| 10. 法令の遵守等 | |
| 10.1 法令遵守に関する担当者を定めている。 | A (B) C |
| 10.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。 | A (B) C |
| 10.3 個人情報保護のための対策をとっている。 | A (B) C |
| 10.4 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。 | (A) B C |
| まとめ：10.2 および 10.3 に関しては、職員に定期的な研修を積極的に行っていきたいと考えている。身近なところから改善を促していけるよう努力している。 | |

点検・評価日：2023年5月31日

実施責任者：事務局長 宇野 真紀子